

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371001500
事業所名	グループホーム名古屋中川の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2) 自治会に加入し、地域住民とは散歩時に挨拶を交わしたり、地域の秋祭りやふれあい祭りなどの行事に参加し交流を図っている。また、高齢者との食事会「つくし会」にも利用者は交代で参加している。中学生のボランティア体験では一緒に歌い、手作りのプレゼントをもらったりしている。また、ホームのクリスマス会にも近隣の託児所の子どもと関係者が来て、子どもとの触れ合いも楽しんでいる。フラダンスなどのボランティアの慰問もある。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3) 家族・利用者・民生委員・地域住民代表・地域包括支援センター職員の参加を得て、おおむね2ヶ月に1回開催している。会議では入居状況の説明と活動報告、その後デンタルサポートによる「口腔ケアの基礎知識」や「摂食・嚥下セミナー」の勉強会など行っている。また、より多くの家族参加を促すために、そうめん流しやクリスマス会などの行事も兼ねて開催している。メンバーから意見や助言を得てサービスに活かしている。	評価	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4) 役所には何か相談したい事や問題があった時に出向いている。また、生活保護受給者の入居も対応しているので、役所の関係者とは連携を図っている。地域包括支援センターから受け入れの問い合わせなどがある。市主催の「薬学の基礎研修」の研修会に職員は積極的に参加している。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6) 利用者とは日々の関わりの中で、家族からは面会時などで意見や要望を聞いている。出された意見などは個人記録や申し送りノートに記入し、職員間で情報を共有し、会議で話し合い対応している。家族アンケートにも「本人の様子をよく連絡してもらえると評価を得ている。年2回中川だよりを発行し、面会時には利用者の様子を伝えている。また、面会のない家族には担当職員が毎月の様子を手紙で知らせている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○ ○ ○
総合評価			○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	×	○	○	○	○				